



2023年3月14日

各位

会社名 株式会社アクセスグループ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 木村 勇也
(コード番号：7042 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 財務企画部長 保谷 尚寛
TEL. 03-5413-3001

2023年3月期業績予想(上方)修正・配当予想の修正(復配)に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年3月14日開催の取締役会において、2022年11月11日に公表いたしました2023年3月期の業績予想を、以下のとおり修正を決議いたしましたので、お知らせいたします。併せて、無配としておりました2023年3月期の期末配当の予想についても、これを修正し、配当を実施することいたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期の連結業績予想数値の修正(2022年10月1日～2023年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,830	百万円 0	百万円 △14	百万円 △17	円 銭 △14.22
今回修正予想(B)	1,870	30	18	15	12.36
増減額(B-A)※	40	30	32	32	
増減率(%)	2.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年9月期)	3,683	54	38	11	9.18

(注)当社は、2022年12月26日開催の第33回定時株主総会で「定款の一部変更」が承認されたことを受けて、当期より決算期(事業年度の末日)を9月30日から3月31日に変更いたしました。

これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は2022年10月1日から2023年3月31日までの6カ月間となっております。

2. 修正の理由

当社は、2023年2月13日公表の通期業績予想において、各セグメント事業の業績における季節変動要因を考慮し、通期業績予想を据え置く判断をしておりました。

しかしながら、プロモーション支援事業における官公庁及びキャンペーン事務局代行、集客プロモーション、採用支援事業における対面型企画の復調、採用代行業務、新卒紹介等が想定を上回る見込みとなり、連結売上高は前年同時期比12.6%増の予想となりました。

また、前連結会計年度に実施した経営合理化によるコスト削減効果もあり、通期の連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が想定を上回る見込みとなりましたので、上記の通り2023年3月期の通期業績予想を修正いたします。

(業績の季節変動要因について)

当社グループの業績は、以下の要因により季節変動要因を抱えております。

当社グループの事業のうち、採用支援事業は、就活関連の企画実施やアウトソーシング業務、人材紹介における売上計上等が増加する3月から9月に売上が集中する傾向があります。教育機関支援事業においても、教育機関のプロモーション活動が増加する4月から9月にかけて売上が集中する傾向があります。上記の要因に伴い、教育機関支援事業においては、3月末まで営業損失が発生する可能性があります。

3. 2023年3月期の配当予想の修正等

	年 間 配 当 金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
今回修正予想	—	—	—	12.00	12.00
(ご参考)前期実績 (2022年9月期)	—	—	—	0.00	0.00

(修正の理由)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つであると認識しており、長期的な観点から、将来の事業展開、財務体質の強化などバランスを勘案しながら実施することを方針としています。

前項の業績予想の修正に加え、今後は新型コロナウイルス感染症による行動制限が本格的に緩和される事業環境を踏まえ、当期以降の事業活動の進捗等を総合的に勘案した結果、1株当たり12円の復配見込みとなりましたので、期末配当の予想を修正いたします。

なお、上記の配当に加え、「アクセスグループ・ホールディングス・プレミアム優待倶楽部」による株主優待制度も引き続き継続いたします。

4. 備考

上記の業績予想及び配当予想は、本資料の公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上